

# 受講生の声から

2011年から続くこのシリーズを受講した過去の受講生からの声をもとに本講義のエッセンスをのべさせていただきます。

## 文系理系を超えた幅広い視点を持ちたい あなたへ

がんを医学はもとより、政治・経済・文化など様々な領域から捉えてみることを通して、世界の内実を読み解くことを学問的考察の端緒とする学際連携プログラム「Cross-boundary Cancer Studies」の一環に位置づけられています。「研究とは自らの問題意識を丁寧に育てていくこと」であり、各テーマごとに深掘りされていく場所へ降りていくことで、自分の専門分野を相対化してみることが促される仕掛けになっています。

## がんというやまいの本質を知りたい あなたへ

がんという自分からは遠いとおもっていた事象を具体的に学ぶことで、その本質を理解することができます。この疾病がなぜ、このようにマスコミで多くとりあげられるのか、社会のどのような構図とむすびついているのか、最先端のバイオテクノロジー、AIから、地域、家族、個人のありようなど人間存在の根源的課題に至るまで、このがんというやまいの今日的な課題のありようを学ぶことができます。

## リーダーシップを学びたい あなたへ

講師の人選にあたっては、それぞれの分野で重い課題を背負いながら、世界を切り拓くことを自らの言葉でひねり出してくださる方をお願いしました。がんという事象を通し、課題設定と課題解決の力を学ぶことができます。本物のリーダーから本物のリーダーシップの在り方、世界を構造的に見る視点を学び、その後の進路に影響を受けたと語る受講生が数多くいます。

## 参考図書



◀ アジアでがんを生き延びる  
赤座英之・河原ノリエ 編  
東京大学出版会2013年4月刊



▶ **Surviving Cancer in Asia**  
**Cross-boundary Cancer Studies**  
The University of Tokyo, JICO

## 論文の書き方に迷っている あなたへ

本講座では毎年、質的研究論文作成についての授業を設けています。今回は、波平恵美子先生の講義において予定しています。参与観察、インタビュー、データ整理、文書調査など、大学院生たちが出会う質的研究遂行のうえでの様々な困難について、具体的事例に則して指導いただきます。

## 英語の授業参加をためらっている あなたへ

秋冬学期に本講座と連動した英語の授業を開講します。英語授業に苦手意識をもっている方たちもこれを機会にこの秋から英語で学ぶことを始めてみませんか？がんはグローバル課題であり、文系理系を問わず英語で学んでいくことが特に重要なテーマですから、サポート体制も準備しています。連続した学びで更に、学際視点を深めてみましょう。